



2010年6月29日

BMW グループの 4 エンジンが「エンジン・オブ・ザ・イヤー」を獲得

➤ **BMW と MINI が排気量別の 8 クラス中 4 クラスで受賞**

ミュンヘン/シュトゥットガルト発

世界で最も有名なエンジン賞「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2010」で、BMW グループのエンジンが排気量別 8 クラス中 4 クラスで受賞を果たした。受賞したパワー・ユニットにはガソリン、ディーゼルの両方が含まれ、シリンドー数も 4 気筒、6 气筒、8 气筒と幅広く評価された。具体的には、BMW M3 の V8 エンジン、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー、ダイレクト・インジェクション(直噴)およびバルブトロニックを搭載した直列 6 气筒ガソリン・エンジン(BMW 1 シリーズ、3 シリーズ、5 シリーズに搭載)、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー搭載 4 气筒ディーゼル・エンジン(BMW X1 xDrive 23 d および BMW 123d)、それに MINI クーパー S の 4 气筒ツイン・スクロール・ターボ・エンジンの 4 機種である。

受賞エンジンの幅広さからも、すべてのシリーズ、すべての出力クラスにわたり、高出力と同時にすぐれた効率を実現できるBMW グループの傑出したエンジン開発ノウハウが改めて明らかとなった。選考は、世界 35ヶ国のエンジン・ジャーナリスト 76 人の審査員が担当。授賞式は、シュトゥットガルトで開催中の見本市、「エンジン・エキスポ」の会場で執り行われた。

「エンジン・オブ・ザ・イヤー」賞は 1999 年に発足。BMW および MINI が開発したエンジンの受賞は、クラス賞と総合賞を合わせてこれまで 50 回以上を数える。連続受賞エンジンの中では、MINI クーパー S の 1.6 リッター 4 气筒が今年 4 度目、そして最後となる受賞を果たした。来年は、このほど発表した 1.4~1.8 リッタークラスの後継エンジンの出番となる。この新型エンジンは、4 度の受賞を果たした先代 1.6 リッターのツイン・スクロール・テクノロジーやガソリン・ダイレクト・インジェクションに加え、可変バルブ制御を採用。最高出力 135kW[184ps]を発生するとともに、この排気量クラスとしては世界最高の効率を実現する。

1.8~2.0 リッタークラスでは、BMW で最もパワフルな 4 气筒ディーゼル・エンジンが初めて受賞。BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーとコモンレール・ダイレクト・インジェクションを搭載したこの 100%アルミニウム 2.0 リッターエンジンは、最高出力 150kW[204ps]。すぐれたトルクと効率を兼備し、審査員を驚嘆させた。そのエンジン特性は高く評価され、「ディーゼル・エンジンで今後これを超えるものが現れるとはとても考えられない」と激賞を受けた。

2.5~3.0 リッタークラスにおいては BMW エンジンのモデル・チェンジにともない、2007 年および 2008 年に総合賞、昨年排気量クラス賞を受賞した同出力の先代に代わって、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー、ガソリン・ダイレクト・インジェクションおよびバルブトロニック搭載の 3.0 リッター直列 6 气筒ガソリン・ユニット(最高出力 225kW[306ps])が新たに受賞した。BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーとコモンレール・ダイレクト・インジェクションを搭載した

新型 3.0 リッターボルト直列 6 気筒ディーゼル・エンジンが競合ユニットを大きく引き離して次点に入った。

BMW M3 の V8 エンジンは、3.0~4.0 リッタークラスで 3 年連続での受賞となった。BMW M3 クーペ、BMW M3 セダン、BMW M3 コンバーチブルの 3 つの高性能スポーツ・カーに搭載されているこのユニットは、排気量 4.0 リッター、最高出力 309kW[420ps]。独自の高回転コンセプトがもたらすその卓越した駆動力で審査員を魅了した。すぐれたパフォーマンスに加え、卓越した効率も高評価を得た。なお、BMW M3 ではさらに、エンジン・オート・スタート/ストップ機能、ブレーキ・エネルギー回生システムその他の BMW エフィシェントダイナミクス機能を搭載している。